

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

## 第 11 回 中山間地域振興特別委員会記録

日 時 平成 30 年 12 月 17 日 (月)

9 時 57 分 ~ 11 時 27 分

場 所 第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員  
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【事務局】 小川局長 新関係長

### 議 題

1 集落機能の維持対策について(提言について協議)

- たたき台を基に自由討議を行った。
- 公民館連絡会との意見交換を行うこととなった。

2 その他

○次回開催 1月21日(月) 13時

飛野委員長

ただいまから第 11 回中山間地域振興特別委員会を開催します。議題に入る前に、前回執行部との意見交換会の席上にて、農林振興課の回答がなかった件について、副委員長からご報告させていただきます。

布施副委員長

前回執行部の報告で、農林振興課長がおられませんでしたので、後から串崎委員と川上委員の質問に回答いただいています。読み上げます。

まず、串崎委員からの質問、センチピートグラスを進めるのに現行の 5 割補助では成功しないのではないかということについて。「各支所から現状を伺ったところ、人的課題もあるが、集落の一体感が何よりも重要であり、やる気がある地域でないとな事業が長続きしない傾向がみられるとのこと。各支所と連携し、集落の体制構築など側面からの応援をしながら、補助の増額を含めて検討する必要があります。」という回答でした。

次に、川上委員の、農林業支援センターの立ち位置についてどう考えているか、との質問については、「支援センターの業務としては、県・JA・農業委員会と連携しながら、新規就農者や認定農業者などの業務を行っているが、これ以外にも、これからの農業を継続してもらうための応援も必要と考えている。その 1 つとして草刈対策の問題解決に向け、草刈機のデモやセンチピートグラスの現場視察なども引き続き積極的に行っていきたい。」という回答をいただいています。

飛野委員長

報告させていただきました。この件について質問はよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では議題に入ります。

### 議題 1. 集落機能の維持対策について(提言について協議)

飛野委員長

前回までに皆さんと論議した内容を正副委員長で取りまとめてみました。別冊です。中山間地域振興に関する提言の叩き台です。これについて今日は、事前に見ていただいていると思いますが、副委員長から概略説明した後、自由討議で内容を再度確認する中で何かご意見があれば申していただき、何とかまとめていく方向づけのための会にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

では副委員長から概略説明をお願いします。

布施副委員長

( 以下、資料をもとに説明 )

飛野委員長

副委員長から概略の説明がありました。申しましたように、これについてどの部分からでも結構ですので、自由討議を進めてもらいたいと思ひます。ご意見のある方お願ひします。

上野委員

この中には地域おこし協力隊の文言が全くありません。それで成功している地域もあるし、プロジェクトチーム内でもそれを活用していくような書き方がしてありますし、文言を入れた方が良いのではと思ひますがどうでしょうか。

飛野委員長

おそらく提言 2 の外部サポート体制を確保する部分に該当するので

はないかと思います。皆さんは地域おこし協力隊についてどう思われますか。

三浦委員  
岡本委員

よろしいかと思います。

提言2の外部サポートに対して書くよりも、地域活動組織の巻き込み……巻き込みという言葉は自分はイマイチ使い慣れてないので、何か良い言葉はないかと思っています。もっと、こういう活動しているのだという意味合いのものを探してみたらと思います。

飛野委員長  
岡本委員  
芦谷委員

何かお気づきの文言ありますか。

今考えています。

行政の縦割りが。公民館、自治会系統、福祉系統、自主防災、全部が縦割りで銘々なんです。一体化のためには行政が地域に旗を振る前に全部のことを伝えないと、地域の横の連携が取れない、それが現実です。強いて言えば地域の一体化とか。

布施副委員長  
芦谷委員  
川上委員

具体的に例を入れながらということですか。

何か他に良いのがあれば。

一体化という言葉が良いか悪いかは別にして、協働でというのが一番良いと思います。実際金城ではそういう形で動いているので、協働がよろしいと思います。

飛野委員長

皆さんどうでしょう。

( 「連携で良いのでは」 の声あり )

柳楽委員  
飛野委員長  
芦谷委員

一緒にやるという意味合いなら協働になるのかなと。

皆さんいかがでしょう。

中身で、地区社会福祉協議会しか書いてないのだけれど、ここでイメージされているのは、他に何かありますか。

飛野委員長

特にこちらとしてはないのですが。

( 「さまざまな団体と書いてある」 の声あり )

芦谷委員

中間提言だから大きくこだわりませんが、これを受け取った執行部に意味が伝わらないといけません。地域社会福祉協議会だけで言ったら「それだけでいいのか」と思うので、他のことも分かる範囲で入れてあげた方が良いでしょう。

小川局長

中山間地域の定義も踏まえるところ、資料で言うと2ページから3ページの「中間報告以降の意見集約」のところで、出た意見を述べている中で、中山間地域の定義の2個前の丸印、「集落維持のための具体的な活動を行っていくことを最終的な目標に考えると、地域に存在する様々な団体、組織なども含め横断的に議論する。」という意見があった時に、地区社協やPTA、青年団、婦人会、老人クラブ等、組織や団体としていっぱいありますよとここに羅列しています。その代表としてここに提言として地区社協等とされているので、これを全部読めば分かるはずだと思います。

川上委員  
布施副委員長

分かりました。

上野委員が先ほど言われた、組織の中に地域おこし協力隊も含めた意

味も入るのか、それとは別に地域協力隊にスポットを当てるのかという話ですが、ここに含まれています。

飛野委員長  
三浦委員

であれば、そのとおりで。

地域おこし協力隊とは1つの仕組みだと思います。だから地域おこし協力隊を入れてくるのが大事なのでなく、外部人材も含めて地域の人たちだけで地域づくりするよりは外部からの人たちの力も借りながら作っていきこうというニュアンスだと思います。地域おこし協力隊は専門家の派遣ではないので、外部人材の活用という括りにして、例えば専門家の派遣や外部人材を活用する際に地域おこし協力隊等の制度を積極的に使って、というのが入っていると、執行部は枠組みを増やすことも検討していると言っていましたし、そういう仕組みを活用して外部人材も入れてくるというニュアンスを付け加える。

飛野委員長  
三浦委員

専門家の派遣の部分ですか。

そこに入れてしまうか、別出しして外部のサポート体制を確保することというカテゴリなので、どこかに入れるか。

飛野委員長  
芦谷委員

三浦委員の意見どうでしょうか。

その上の「地域の各種組織の巻き込み」がここに入るのが違和感があります。これは地域の体制づくりの話なのだから、内部体制ではないのですから、整理がどうかなど。

飛野委員長  
芦谷委員

いまの意見からいくとどの項目が適当と思われませんか。

ここまで来てのも憚られるが、地域の現状把握というのがありましたね。本当は現状把握を前段で述べて、それでどうするというのがあった方が良くと思うので。提言1に話し合いの場を作ることを含めて地域内の各団体組織の連携が関係してくると思います。これでほぼまとめかかっておられるなら微修正で進めてもらっても良いですし、まだ議論される予定がなければこのままでも。

飛野委員長

基本は今日自由討議しますが、慌ててまとめる気持ちはないです。皆さんの意見が出尽くすまでやりたいと思います。

串崎委員  
飛野委員長  
串崎委員

地域おこし協力隊のことはどこかに入れてあげないと。

私もそう思いました。

専門家ではないからそこではダメということになれば、「そうした組織を巻き込んで」の部分を「そうした組織や地域おこし協力隊等を」と入れてあげたら良いのでは。

布施副委員長

そして芦谷委員さんが言われる提言3の所を最初に持ってくるという話。地域課題は最初にやらなければいけないから先に持ってくる。自由討議だから、そういう案が出たということで。

飛野委員長

その部分でご理解できました。この件に関してその他ご意見ございますか。

( 「なし」という声あり )

他にないようなら、一応その部分はお預かりしたいと思いますがいかがでしょう。それで再度整理させていただきたいと思います。よろしい

でしょうか。

( 「はい」という声あり )

三浦委員

地域外の人との交流みたいな表現は、少し違います。いわゆる関係人口のようなものですが、外から関わってくれる人をどれだけ増やせるか、その時に地域おこし協力隊の仕組みを含めて外部人材を投与しながら、人材を増やしていく。すると1でも2でも3でもないので、新しい項目を作ってそこに協力隊制度を精力的に活用していくと。

飛野委員長

意見をお聞きしました。

川上委員

三浦さんが言われたとおりだと思っています。できたら2番にそれを入れて、3番が専門家の派遣という感じでどうでしょうか。

飛野委員長

一応この件に関する皆さんの意見は何えたと思っています。これについては整理させていただきますがよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

三浦委員

アドバイザーとしての専門家の派遣とは、具体的にどういうものをイメージしていますか。例えば中山間研究センターのような機関もあるし、西部県民センターのような県の組織もあります。コミュニティのような場づくりにおいては、研究センターや県民センターに知見がない場合もあって、その場合は民間の専門家を連れて来るケースもあります。そういうものはあまり明記しない方が良いのですか。今日の冒頭の報告にもありました、場合によっては農林業支援センターのようなところもここに該当するのか。

川上委員

農林業支援センターについては3番目の項目の農林地の維持管理体制にかかってくるのかと。今回はおいても良いかと思っています。

布施副委員長

中山間地域について4つの大きなテーマがあります。その中の取っ掛かりが集落機能維持で、皆さんが1年かけて自由討議して色々な意見が出て、事例もあり研修も行きましたが、集落機能についてはほとんど全部に関わる人が多いので、こういう書き方をさせていただきました。

川上委員が言われたように、掘り下げていくと次のテーマくらいには、農林業支援センターの関わりや県民センター等の具体的な名前が出てきて良いと思います。最初の部分でその名前を入れてないのが、この提言書だったのですが。

小川局長

考え方としては、たとえば雲城はアンケートした分は中山間地域研究センターに分析を依頼してやられました、素人ではできないので。また計画づくりのイメージとしては、自分たちでできればいいんだけど、ある程度コンサル的な方に入ってもらわないと綺麗にまとめられない場合は、そういう方への業務委託も必要かというのも含めて、最後の予算の項目として委託料なども含めてイメージしています。

三浦委員

分かりました。であれば、これは全体的な書きぶりの話ですが、専門家の派遣も必要になってくると思います、ではなく、必要ですと言い切った方が良いのではと思います。

芦谷委員

である調の方が強いと思います。ですます調を止めて、である調の方

が、一般的な提言の場合には良いと思います。

岡本委員

言葉を提案したいと思います。地域各種組織の巻き込みとなっておりますが、地域各種組織の協働という意見もありましたので、地域各種組織の協調と協働としたらどうですか。まず仲良くし合って、次に一緒にやりましょうというのを並べることで、基本という意味合いになるかなと。提案します。

飛野委員長

意見としてお聞きしておきます。この件について他にありますか。なければこの件、提案を変えたいと思います。よろしいですか。

( 「はい」という声あり )

飛野委員長

その他何かございますか。

布施副委員長

皆さん、自治区制度廃止の素案ということで新聞報道があったと思います。自治区特別委員会の方は、委員長がおられますのでよくご存知だと思います。その中で、「まちづくり振興基金の中から5年間で計10億円の中山間地域振興枠を創設」と載っていました。まとめの(1)で、中山間地域振興特別委員会で、中山間地域対策に必要な財源を確保し十分な予算措置をされたい、というものも入れています。この自治区制度の素案の中山間地域振興枠を創設という部分と、我々が十分な予算が措置されたいということと一緒にしない方が良いという思いがあります。というのは、地域おこし協力隊や外部アドバイザーを持ってくる時に、中山間地域振興枠で使われると、違う予算立てになりますので、このまとめ内の予算と、自治区予算内の中山間地域振興枠とは別物とご理解いただきたいと思います。

飛野委員長

副委員長からの意見について、皆さんどのように思われますか。

川上委員

もちろん全然別物として扱うべきだと思うけど、絡む所は絡んでくるので、完全に別物ではなく、同列に並べた方が良いと思います。自治区制度に伴うことと、中山間地対策とはスタートが違うので。自治区制度の中で中山間地を考えるならこれで良い。僕らは中山間地を軸に考えているのだから、今は別物。最後には一緒になるかもしれないけど、それならそれで良いと思う。今は別。

飛野委員長

別物であると考えて、こちらは別立てで進めていくという話ですが、この件どうでしょう。

芦谷委員

まとめの中の中山間地域対策に必要な財源の使い道とは、例えばどういったものですか。

布施副委員長

今一例で言ったような、地域おこし協力隊もお金が要りますからそういったものとか、ソフト部分です。草刈り機の500万するものがもし弥栄で必要なら、補助については確かに自治区制度で使われるかもしれませんが、オペレータ養成講座をするのに必要ではないかとか、それらについては我々委員会の中で使えるのではないかと。

もう1つはアンケートする等色んな部分で先進地へ行こうとか。一番近くの安芸高田市はいけませんでしたが、ああいうところへ行くとか、雲城に行くとか、結構色んな部分で使えるのではという思いはあります。

そのための財源措置をお願いしたい。

岡本委員

そういう意味ならば、明確に中山間地域についての予算の意味合いは明確に示していかないといけないだろうし、自治区制度についての使い方についても明確に示していかないといけないと思っています。これは違うと説明されて理解しましたが、理解だけでは済まないです。中山間地域の予算立ての意味合いはしっかり公言すべきだと思います。私の受け取りで、どうも問題は中山間も自治区制度も同じようなことに着手しようなので、そこにあてがわれる金は同一のものだと思ってしまう。

布施副委員長

私は多岐多様にわたって予算が必要なのではと思います。列記すれば切りがないのですが、そういう意味で委員長と事務局とで書かせていただきました。言われることは十分分かります。特別委員会としての書き方としてピンポイントで出した方が良いのか、それとも別に予算が確保されたということでやった方が良いのかは私も疑問に思います。

三浦委員

提言4を読みながら思ったのですが、まちづくり総合交付金の中でもあります。これは個人的な意見ですが、例えばまちづくり総合交付金の拡充をもう少しすべきと思っているのと、並びに市内の中山間地域対策を横断的に行うような新規枠組みを作るべきだと僕は思っています。各自治区が持っている基金を、中山間地域対策を横断的に行うような枠組みに置き換えるべきだと個人的に思っていて、それは自治区の委員会内でも意見が出ています。川上さんもおっしゃったように、議論を分けて考えているのですが、中山間地域特別委員会としては中山間地域対策にきちんと充てるお金を確保するべきだという提言の仕方をすれば、自治区制度の提言と分けて言えるのではと思います。横断的に行うといった表現を入れておけば、各自治区が個々にやるものではなく、まち全体としての中山間地域対策を全体最適化していく意味合いで提言できるのではと感じました。それであれば、現段階で草刈り等、各地域が共通で抱えている問題を具体的に入れなくても成立するのではと思います。

小川局長

まちづくり総合交付金を使うことになるのかもしれないけど、これは確保するべきだとは書いてあります。今からまだテーマ2、3、4は具体的論議をしていません。具体的論議の中で案が出てくれば書けますが、まだそこまでやってないので総枠的に今から検討していく中で、お金がかかることが出てくるので、中山間地の予算をしっかりと確保してよ、という意味合いで書いてあるので。各種の案は今度は個別の提言に入れていけば良いのかと思っています。今から詰めていくけど、その中で金がかかる部分と計画に入れてよという部分の2点だけは共通してあるので、ここに入れたという形で捉えた方が良いのかなと。

三浦委員

横断的に、というのは自治区制度を意識した言葉になっているので、それは僕の個人的な考え方なので、この委員会としてその言い回しで良いのか悪いのかということもあると思います。先の局長の説明は、そういうところもまだなくて、総論として中山間地域対策は必要だから、具体的な予算措置はこれからだけどとりあえずこの枠組みは絶対取ってね、

というところに留めていると思います。僕の意見は、自治区制度が今後どうなるかもこちらで考えながらその予算をどうするかを意識して、横断的にという文言を入れている。それはどの自治区でも関係ないということをお願いするという意味合いでした。

岡本委員  
小川局長

私はこれが最終だと思ってきました。

集落機能の維持対策についての提言は、これで終わりです。まだテーマが残っているので……。

岡本委員

テーマが残っているからこれについてはまた更に提言していくということですね。そういうことなら、これで全て終わりだと思います。

小川局長

あと正副委員長と話した時は、自治区制度の中間報告と執行部の中間報告の話もしたのだけど、あれは5年間で10億と決まったものです。地域づくり、中山間地域対策は5年間で終わるわけではないので、ここで言いたいのは、予算は一緒なのだからこれに関わらず中山間地に対する予算は確保するという意味も込めているので、違うという思いは確かにあります。おまけにどういう内容に使うか、恐らく自治区枠を取っ払って全体の中山間地域枠として確保するので、各自治区にいくらという分け方をしてないはずで。その制度設計の細かい点はまだ分からないので、こちらも今の段階では書きようがないのです。

永見委員

1番のまとめとしては、必要な財源を確保し十分な予算措置をされたい。私はこれでいいと思います。

飛野委員長

岡本委員、先ほどの件はよろしいですか。

岡本委員

良いですよ。

芦谷委員

中山間地域の財源、これだけだったら分かりにくいと思うので、先の話聞いていて、集落機能の組織の問題と組織への活動に対する経費と、維持管理と、外部支援と、それくらいの項目くらいは入れた方が。対策だけだとほとんど意味が分かりません。だから、集落組織化と、組織の活動のことと、維持管理と外部人材、この4つの経費くらいにしておけば。

飛野委員長

今おっしゃったことは4番のまとめのところに、いくつか挙げています。だからその部分がもし言葉足らずであれば、足さないといけないと思いますが、いくつかは網羅していると思っています。

小川局長

書くとなればまとめのところの、なお初めての提言となる……のところ。これを作った時の僕の思いは、今後の提言とも共通する、だから予算が今から一杯色んなことが出てくるかもしれないから、予算が要るのだというのを書いたのだけど、今後の提言とも共通するものがあれば膨らませて、今からこういうテーマについてやっていくので、すると色んな提言をすることがあり得るので、予算がかかるので共通する要望をしておきますという形に、膨らませて。

飛野委員長

事務局から意見がありました。膨らませていただく、その部分に肉付けするというので、どうでしょう、よろしいですか。

( 「はい」という声あり )



芦谷委員 2番も「これまで以上に明確に」というのがまた曖昧なのです。例えば何々みたいなことを入れないと。

飛野委員長 検討してください、ということですがどうでしょうか、よろしいですか。

( 「はい」という声あり )

布施副委員長 その他どうですか。中山間地域の定義はよろしいですね。皆さんに聞いてみたいのですが、特別委員会を立ち上げて1年になります。この特別委員会のことを住民の人も知っておられる方が結構おられます。皆さん方の反応はどうか聞きたいのですが。

三浦委員 提言についての意見交換はもう終わりですか。まだたくさんあるのですが。

布施副委員長 とりあえずそれはまた後で。

川上委員 先程副委員長が言われたように、奥の方からこういう話がありました。「検討されているんですね」と。その中で浜田市立公民館連絡会からこういう提案がありました。公民館連絡会も現在、公民館機能や組織、地域との連携等、諸々検討しつつあります、よろしければ中山間地特別委員会の皆さんとお話してみたいと提案がありました。向こうの方も進めているらしく、その辺を話しておいて欲しいと言っておられたので、お伝えだけしておきます。担当は連絡会の岡本会長さんです。せっかくなので皆さんご検討ください。

飛野委員長 今の意見、どう受け止められましたか。

( 「良い話だ」という声あり )

布施副委員長 これはコミセンを含んだ意味合いですね。

川上委員 もちろん。提言で言えば(4)公民館の体制強化と機能の確立に関すると思います。その辺も含めて意見交換をしたいと。

飛野委員長 連絡会は館長会ですか。

川上委員 そうだと思います。

飛野委員長 お諮りしたいと思います。川上委員から公民館連絡会との意見交換会の提案がありました。皆さんどうでしょう、そういう形で進めてみたいのですが。ご意見があれば。

( 「はい」という声あり )

上野委員 良いのですが、館長だけですか。

川上委員 いや、それは館長会から話があっただけだから。

上野委員 色々方法はあろうが、主事さんらが一番まちづくりと絡んでおられるから、できればそういう人の意見を聞く機会があれば良いです。もしくは館長に、この会議までに色んな声を聞いてきてくれという方法で。

川上委員 話し合うのであれば、周辺意見を集約したものを持ってきていただきたいと言うのも良いかもしれません。ぜひお願いしましょう。

飛野委員長 公民館を1つ1つ、懇談会的に回ったことがありました。その時に意見をいただいたことがあります。色んな意見はありましたが集約が難しかった気がします。上野委員からの提案ですが、例えばそれ一同に会し

たらずごい人数になります。考えて進めないといけないと思います。この辺の意見をもう少し詳しく皆さんで協議いただけたらと思います。

川上委員 公民館連絡会に、どういう形でやりたいか確認しておきましょうか。

飛野委員長 そうですね。下打合せしてください。それから皆さんに諮ります。時期として今からしばらく要と思っています。

芦谷委員 提案ですが、各5自治区の館長と代表主事で10人くらいでどうかと思います。

布施副委員長 人数にこだわるわけではないですが、定義から言うと石見公民館の分館にあたる所が中山間地域なのです。すると石見公民館の館長さんでは現場の声が聞きにくい部分が出てくるので、浜田については分館、まちづくりをやっている宇津井と佐野、これらはまちづくりがあつて公民館と連携しているのでそこで1つ。長見と三階がまちづくりで1つになっていますのでそこを1つとか。細分化して出てもらうようにすれば。

川上委員 それもあるので1回下打合せをして、私の方で公民館連絡会の会長の岡本さんまたは代表するような方と打合せしてみたいと思います。その内容を皆さんにお諮りしたいと。

飛野委員長 どうでしょう、今の案でよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

ではそういう形で。事務局何かありますか。

小川局長 公民館の体制についての意見交換をするということは、この提言中の最初の公民館の体制に活かせるか活かせないかなので、了解を得られたら年明け早めにやって、この提言を直す前にやってしまわないと。次の提言は公民館機能の充実は出てこないの。申し訳ないが川上委員に窓口になってもらって、次の日程を決めた時に、そこでやりましょうくらい決まると良いのですが。

川上委員 かなり進んでいる感じでしたので、可能ではないかと思いながら聞きました。

飛野委員長 そういう進め方でよろしいでしょうか。

岡本委員 川上委員の意見どおりに進めていただいて結構です。

布施副委員長 浜田自治区にも中山間地域はありまして、皆さんの言われている意見は、中山間地域と言えば旧那賀郡が注目されますが、自分らも同じ条件なので委員さんには浜田自治区のことも中山間地のこともしっかり考えてやっていただきたいということは、強く言われています。有福・大金などはそういう状態です。美川や櫛田原の方も対象になると思いますが、執行部の中山間地域の定義である8キロから外れている部分が結構あるのですが、その辺も含めてやっていただきたいということは言われました。

飛野委員長 他の方はどうですか。地域において色んな意見をお聞きになっている内容。なければ元に戻すというか、別の件に移らせていただきます。ご意見のある方は。

西川委員 今回提言のテーマ、キーワードは「主体性の創造」ではないかと思

ます。提言のタイトルだけ見るとそれが認識しづらく、提言2は外部サポート体制を確保するという、最後の段落のところで「市職員が指導するのではなく地域の自主性を引き出し、ある程度地域が主体的に動き出したら一歩引いて見守る」と、人材を育成する話になっていると思います。外部サポート体制を確保することという、あまり主体的な感じがしないので、ここは外部サポート体制を作って地域が主体的に動ける人材づくりではないかと思っておりますので、そういう文言が入った方が良いかと思っております。

布施副委員長  
西川委員  
飛野委員長  
布施副委員長  
西川委員  
飛野委員長  
柳楽委員

大見出しにですか。

そうですね、主体性を認識できるような表現の方が。

西川委員のご意見についてどうでしょうか。

それは提言のテーマと合ってくるということですね。

それがキーワードだと思うので。

皆さんどうですか。

そういう形になると、提言2の大見出しのすぐ下の文章を変えないといけない感じになるのかなと思うのですが。外部からの支援を仰ぐことも必要になってきます、というところが、住民ができないところを外部からのサポートでというのが出てきているので、それを入れようとするとまたちょっと表現が……。

小川局長

今言われた部分を考えて、提言3を最初に持ってきてまず現状把握をして、それから組織づくりをやってということなら、ここは3番になると思いますが、この外部サポート体制を確保することというのを、外部サポート体制の確保と地域の人材育成を行うこと、といった表現にして、内容もそれに合わせる形で変えるという方向で修正させてもらえば良いのかなと。

飛野委員長  
西川委員

それでどうでしょうか。

良いと思います。主体性の創造ということで、1は主体性が創造できる組織づくりだと思って、2の方が多分人材づくりだと思います。今はタイトルだけ聞くと外部サポート体制を確保すること、という全然主体性がない印象なので、そこを主体性が感じられる表現にしたら良いと思います。

飛野委員長

ではそういう方向で修正させていただきたいと思っております。よろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では三浦委員、先ほどの続きを。

三浦委員

まず提言の1ですが、「全ては地域の皆さんが集まって話し合うところから始まります」というリード文が、以下の提言項目に対するリード文としては弱い気がして、話し合いと活動がスムーズにできるような体制を整えることが大事だということが(1)から(4)まで言われていると思うので、集まって話し合うことから始まります。例えば所属するコミュニティや自治をしていくという意識向上を図るために、共助の体制

づくりが急務です、といったことが入っていて(1)から(4)に繋がる方が、以下に何が言われているのかがきちんと頭で分かるのかなと思っています。文言は調整していただければ良いので、意見だけ。

集金常会の2段落目の表現が少し弱いとっていて、「何らかの切っ掛け」という「何らか」というのも弱い感じがします。それが常会になって、そうやっていったら良いなという、期待値に留まるような書きぶりかなとっているのも、もう少し踏み込んで、防災安否確認と地域の共助が必要と考えられるテーマを切っ掛けにまずは集まって、それを常会に発展させていく形が望ましいと考える、とか、それぐらいの書きぶりの方が良いかなと。実際に集金常会については今までの委員会でも「良い仕組みだよ」ということが議論されてきたと思うので、書いても良いのではと思いました。

町内会の確立についても、4行目、「協働して活動を行うことの検討が急がれます」と言い切った方が良いと思いますし、次の「中には話し合いの場を持つことさえできてない所が実際にある」ということだったので、そういう現状ですとこれも言い切って書いておいた方が良いのではと思います。

(3)「組織の活動エリアの設定」ですが、浜田自治区の所が気になっていて、2段落目「浜田自治区では公民館単位や校区単位、町単位という様々な単位でまちづくり推進委員会が設立されている」というくだりで、「旧小学校跡に公民館分館が置かれており、まちづくり推進委員会の活動とは別に、分館単位で」とありますが、分館単位だけではなく冒頭に「様々な単位で」とあるのでこれも取ってしまっていて、色々な行事がまちづくり推進委員会とは別にされているよね、とした方が事実に基づいているかと思います。「もしかしたら」のところも、その活動はまちづくり推進委員会ではないけど、まちづくり推進委員会の活動と同等に扱われるべきものであり、今はまちづくり推進委員会ではないから行政から受けられるサポートに差異が生じている現状かと思いますが、組織が異なることで受けられるサポートが違っていることは浜田自治区にとってはマイナスポイント、要は活動が促進されれば良いので、まちづくり委員会にこだわらず、まずはそこで行われている活動がきちんとサポートされることをここで伝えた方が良いのではないかと。組織が異なることで受けられるサポートに差異が生じている現状は見直しの必要がある、余地があるのではないかとということをごひ入れていただきたいと私は思っています。

(4)のコミュニティセンター化の話の所で1段落目の最後、「まちづくり組織の動く機能への連鎖を生むための仕組みづくりが必要です」というのも、「動く機能への連鎖を生み出す組織改編でなくてはならない」とか、それぐらいのもう少し強いメッセージが加わると良いのではないかと印象を受けました。

もう1つ、雲城の話とか旭の話とかを伺う中で、地域づくりとコミュ

ニティづくりが上手くいっているところには、きっと何かパターンがあるのだらうと思うのです。全戸アンケートを取るなどきちんとリサーチして意見集約して、その後キーマンを抽出して、そこから組織・体制づくりが始まっていて、人材育成に入っていて実践に移していくという、何かきちんとパターンがあると思います。そのパターンに従って今回の提言も、リサーチをしましょう、人材育成していきましょう、外部サポートも入れながらしっかり体制づくりしていきましょうとなっていると思うので、何かそのパターンのプロセスみたいなものが分かるような図とかが入っていると、提言としてはとても綺麗に、この要素をもう少しきちんと編集すると伝わりやすい、分かりやすい話がまとまった形になるのではないかと、図等を入れることをご提案したいなと思いました。

布施副委員長

三浦委員の話聞いていて、提言書には断言することが必要だというのは思っています。事実がこうだからこうすべきだ、ということも十分理解できます。最後に言われたパターン化、これは成功したところの地域によって全然違うのですが、基礎にある道筋、取組というのはパターン化されていると思います。それをフローチャートにするのか、アンケートしてまちづくりができてないところはまず町内でもやっているところとやってないところがある、だから組織化してやりましょうという部分ですよね。外部人材を使ってまちづくりのアドバイスをもらったというところもあると思います。そういったものをパターン化できているところを図式化して、やるというのは、外部の人は文字だけ見てもなかなか分かりにくいものがあるので、市の執行部がよく作っているチャート、こういうのが全てとは言いませんが、こういったものをこの提言書の中で示すことも大事だと思いました。

飛野委員長

三浦委員から沢山のアイデアをいただきました。復唱はできかねますが、内容的には良かったのではないかと思います。この件については皆さんにはお諮りしませんが、指摘のあった点を網羅して見直させていただきたいと思います。どうでしょうか。

( 「はい」という声あり )

最後に布施副委員長が言いましたフローチャート云々については、皆さんにお諮りしたいと思います。どうでしょうか、チャートを入れるべきだというご意見については。

布施副委員長

細かいことは入れないのですよ、集落機能のためには、提言が(1)から(4)までありました、それを分けて下りていく。これについては外部人材が必要なところ、もう確保してあるところは次の段階に行きましょう、というような、パッと見て流れが分かるようなフローチャートが必要ではないかと。

飛野委員長

皆さんこの件について意見は。

串崎委員

良いと思いますが、なかなか大変。

柳楽委員

それはあくまでも、こういう流れもあります、というものということ

ですよね。

( 「そうそう」という声あり )

西川委員

雲城の取組が非常に具体的な例なので、雲城の事例を示しても良いのかな。一般的なことを書くとそれにはめられるかもしれないので、具体例でも良いのかなと。

飛野委員長

今の件どうでしょう。

川上委員

雲城では企画会というのがあるので、企画会の流れを作ればそのままになります。

柳楽委員

コミュニティセンター化の話も出てくるではないですか。それなら雲南の職員が配置をされて、というのもあの時の資料の中にあっただけだと思います。だからそういうのも良いのかなと思いました。

飛野委員長

計画的なものが欲しいという意見ですね。

三浦委員

示せるのかどうか議論の熟度だと思いますが、提言をする時に、パターンというのは1つの型であって、最初に型を示してあとはその型を崩しながらそれぞれの地域が合うように作り変えていけば良いと思います。ただ、皆違うよねと言うと何をやったら良いかが分からないので、基本的な要素、こういうプロセスというのを、委員会の中でご提示された雲城の例とか、何かしらのパターンみたいなものが提言書の中にあると、1つ示すものとしては良いのではないかと。あくまで1つの型です。

川上委員

提言としては今言われたように、パターンを見せるために形を作っておきますよと。あとの活用は任せます、色んなことが書いてあるから自分たちに合うように考えてくださいね、というくらいかと。その程度で良いと思う。雲城の例でも構わないけど、せっかく先般、小規模多機能自治をやっている雲南も行ったし、そういうこともあっても良いかと。

飛野委員長

皆さんフローチャートのものがあつた方が良いという雰囲気を感じています。具体的にはともかくとして。

小川局長

簡単なのを作ってみます。

三浦委員

そうしたら、パターンをポンチ絵にしたものをご提案して、また皆さんで協議してもらったら良いかと。たたき台があつた方が提案しやすい。

飛野委員長

提案は三浦委員。

三浦委員

ではたたき台を作ります。

小川局長

ありがとうございます。

飛野委員長

三浦委員にたたき台を出してもらって、それから皆さんで検討させてもらいます。

芦谷委員

三浦委員から提案のあつた中身も含めて、正副委員長に整理を任せますから。

飛野委員長

フローチャートについてはそのように進めていきます。よろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

分かりました。

大分時間も経過してきていますが、どうでしょう。皆さんまだ意見が

あるなら、ここで休憩を取ってからやりたいと思いますが、あまりないのでしたらこのまま続けますが。大分意見が出てきたとは思っています。議題1に関して、その他ありますか。

( 以下、自由討議 )

一応、議題1について皆さん大体の意見は出していただいたということで、今日はよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

## 議題2. その他

飛野委員長

その他に入ります。事務局から何かありますか。

小川局長

ありません。

飛野委員長

そうすると、特にこちらとしてもございませぬので、次回の開催を検討するにあたって、先ほど提案のあった公民館のこととか、イメージ図であったりを勘案しながら、次回の開催日を決めたいと思っています。一応こちらでは1月18日と21から25の間で考えています。皆さんご都合をご確認いただきたいと思います。

布施副委員長

これは各委員会や広報の日程を外したものです。

小川局長

21日昼イチで公民館と、どれくらいの規模にするか人数調整してもらおうようにして、この日に意見交換を1、2時間やっておいて、それが終わった後に、提言の修正点やフロー図について協議して、もう1回やって最終的なものを練る、というくらいですか。イメージ的にいうと2月にもう1回くらいやって、3月議会までには最終的な提言が市に対して提示できるようにしておいた方が良くと思います。

川上委員

公民館にその日程で打診してみます。

飛野委員長

皆さんにお諮りします。次回開催を1月21日(月)13時からにしたいと思います。

布施副委員長

その時には公民館との意見交換会を踏まえての予定です。

飛野委員長

公民館との意見交換会を踏まえた会にしたいと思います。それでよろしいでしょうか。

小川局長

できれば意見交換会にするのですね。

飛野委員長

以上で今日の議題は終了しました。閉会したいと思います。よろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

ご苦労様でした。

(閉 議 11時27分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛野 弘二 ㊞